



報道関係者各位

プレスリリース

2026年6月9日

株式会社エル・ティー・エス

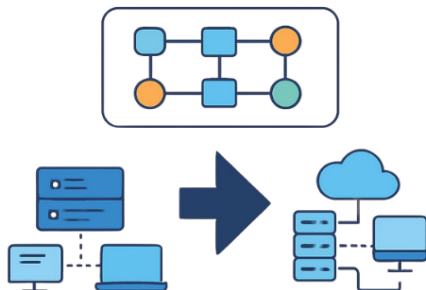
LTS、企業のDXとアジリティを加速する「エンタープライズアーキテクチャー（EA）策定支援」サービスを提供開始～先行事例として株式会社ヤマシタ様への支援内容を解説するセミナー動画を公開～

株式会社エル・ティー・エス（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：樺島 弘明、以下 LTS）は、企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）と持続的成長を支援するため、「エンタープライズアーキテクチャー（EA）策定支援」サービスの提供を開始したことをお知らせします。本サービスは、部分最適化やシステムのレガシー化といった課題を抱える企業に対し、ビジネスとITの理想的な将来像「Should-Be モデル」から逆算して変革プランを策定することで、企業全体の変革力最大化を支援します。

エンタープライズアーキテクチャー（EA）策定支援サービスページ URL：<https://lt-s.jp/service/articles/19172>

エンタープライズアーキテクチャ 策定支援サービスの提供を開始

ENTERPRISE ARCHITECTURE



先行事例の解説動画公開中

株式会社ヤマシタ様

エンタープライズアーキテクチャ策定支援

業務とITの概念モデリングによる
「共通言語」の構築

【本サービスの事例紹介】株式会社ヤマシタ様（介護用品レンタル・リネンサプライ業を展開）の事例を解説するセミナーアーカイブ動画を公開中です。URL：<https://lt-s.jp/service/articles/19136>

■サービス提供の背景

近年の企業を取り巻く環境は大きく変化しています。変化に柔軟に対応し、持続的な成長を実現するためには、事業活動とIT・データを一体化させた経営が不可欠です。しかし、多くの企業では、以下のような課題に直面しています。

- 部門やシステムごとの部分最適化が進み、全社横断のデータ活用やDXが停滞している
- システムのレガシー化・複雑化により、ビジネスの変化に迅速に対応できない
- IT投資が場当たりのになり、全体最適が図れていない



これらの課題は単なる IT の問題ではなく、企業経営の根幹に関わる重要な経営課題です。LTS は、これらの課題を解決するために「エンタープライズアーキテクチャー（EA）策定支援」サービスを提供します。

■「エンタープライズアーキテクチャー（EA）策定支援」の概要と特徴

ビジネスと IT の全体像を可視化し、将来のビジネス戦略を実現するための最適な IT アーキテクチャを描き、その実現に向けたロードマップを策定するサービスです。

【特徴1】「Should-Be モデル」アプローチによる、現実的な変革プランの策定 従来の現状分析（As-Is）から理想像（To-Be）を描くアプローチでは、複雑な現状の整理に時間がかかり、変革が停滞するケースがありました。

本サービスでは、まず DX 推進や新規事業など、ビジネスが目指す姿から逆算した「あるべき IT の姿（Should-Be モデル）」を定義します。これにより、現状とのギャップが明確になり、現実的かつ効果的な変革へのロードマップを描くことが可能です。

【特徴2】ビジネスから IT まで一気通貫で可視化し、全体最適を実現 ビジネスの提供価値（ビジネスレイバリティ）から、業務プロセス、データ、システム、技術基盤（プラットフォーム）に至るまで、各層のモデルを整合性を取りながら策定します。これにより、部門間のサイロをなくし、全社横断でのデータ活用や意思決定を促進する、全体最適化されたアーキテクチャの設計を支援します。

【特徴3】アジリティとガバナンスの両立 変化に迅速に対応する「エンタープライズ・アジリティ」と、継続的にアーキテクチャを管理・統制する「ガバナンス」の両立を目指します。一度きりの設計で終わらせず、企業が自律的にアーキテクチャを進化させられる体制構築までを視野に入れた支援を行います。

【株式会社エル・ティー・エスについて】 東京証券取引所 プライム市場（6560） URL：<https://lt-s.jp/>

株式会社エル・ティー・エスは、クライアントのビジネスアジリティ／変革実行能力を高める伴走型コンサルティングを主軸とした総合サービスを提供しています。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】 LTS 広報担当 E-Mail：info@lt-s.jp